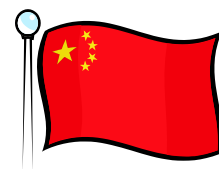


国際理解出前講座

中国の文化について



平成 26 年 1 月 19 日（日）、旭陽公民館で国際理解出前講座「中国の文化について」を開催しました。講師は、黒龍江省出身、大連育ちの侯継敬さんです。二人の子どもさんの子育てをしながら、高校で中国語の講師も務めておられます。

中国の地図を見ながら「これは何の形に似ているでしょう?」、また「この漢字は何と言う意味でしょう?」など、クイズを織り交ぜたり、中国語の四声の発音を練習したりと参加型の講座で、参加者も熱心に聞いておられました。

おはしの置き方や乾杯のマナー、またプレゼントをもらった時の対応や割り勘のマナーなど、日本と中国の比較をしながら説明をされ、同じアジア圏でもずいぶん考え方が違うのだと、参加者がびっくりされることも多かったよ



足で蹴って遊ぶ羽根



動物の骨に色を塗ったもの。
お手玉のように遊びます

講師が使っていたという、動物の骨に色を塗りお手玉のようにして遊ぶものや、ゴムとび遊びの実演を見て、「私たちも子どもの時に同じように遊んだわ。同じなんやね」と、遊びでの共通点を発見して親しみを感じた方もおられました。